

# 富士商事

Business Report

## FUJI ビジネスレポート

第48期

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

夢見る人に  
次々と。



ヒト味違う  
“オモシロ”さ！

 株式会社 藤商事



JASDAQ  
(証券コード 6257)

Top Interview  
トップインタビュー

# ブランド力を構築し、さらなる成長を実現します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

藤商事は、コーポレートスローガン「ヒト味違う“オモシロさ”！」のもと、幅広いファンの獲得に努めてきました。

また、サン電子株式会社と資本・業務提携契約を締結するなど、企画・開発力の一段の向上に力を注いでいます。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## 市場動向と平成25年3月期の総括

**Q1** 3つの重点課題の達成状況を含め、当期の総括をお願いします。

**A1** 販売台数を伸ばし、売上高の増加につなげました。

現在の当業界は、ホール軒数の減少と、ホールの大型化が同時に進行しており、店舗間の集客競争が厳しさを増し

ています。それに伴い、安定稼働が見込める商品に需要が集中し、メーカーにおいては、市場ニーズを捉えたヒット機種の創出が強く求められています。こうした状況のなか、当社は「稼働力の向上」を大目標に掲げ、3つの重点課題を推進しました。まずは「①稼働力の要素追求」です。著名音楽プロデューサー監修による機種開発や、マージャンをモチーフにしたパチンコ・パチスロの同時発売など、多面的な戦略を実施しました。しかしながら、長期稼働という市場の要求には応えられず、お客様視点のものづくりを再認識する必要があると感じています。「②新たな流行を創り出すヒット機種の実現」では「CRオーメン」を発売し、当社が得意とするホラージャンルの定着に手応えを感じ始めています。最後に「③販売計画の着実な達成」については、厳しい商戦が続く、本年1月に当初の計画を修正しましたが、前年同期と比較して販売台数を伸ばしました。こうした取り組みにより、売上高は増加したものの、新卒の市場投入による売上原価や販管費の増加などを背景に、各利益については減少となりました。

代表取締役社長

松元 邦夫

Kunio Matsumoto

## 平成26年3月期の取り組み

**Q2** 当期の実績を踏まえ、今後の成長戦略を教えてください。

**A2** 市場ニーズを先読みし、ブランド力を高めていきます。

次期は「ブランド力の構築」に力を入れていきます。その実現に向けた具体的な重点課題として「①稼働本位」「②新たな流行を創り出すヒット機種の実現」「③販売計画の着実な達成」を設定しました。そして、それらの完遂に向け、新たな戦略をスタートさせています。人気タイトルに需要が集中する傾向は、今後も継続すると考えています。ファンの幅広い嗜好に応えるため、スペックだけではなく、ジャンルの多様化も今まで以上に進んでほしい。そうした市場ニーズを先読みし、平成25年5月上旬から稼働実績のある人気シリーズの最新機種「CRゲゲゲの鬼太郎 地獄からの使者」の納品を開始しました。また「ホラージャンル=藤商事」を盤石化させるための機種の発売も予定しています。

パチンコ・パチスロの開発は、ハイスぺック機の浸透を背景に、難しさ・複雑さを増していますが、アミューズメントの新しい可能性を秘めているのも事実です。藤商事は、研究開発への積極的な投資をベースに、モノづくりを追求し、株主の皆様の期待に応えるブランド力を構築することで、さらなる成長をかたちにしていきたいと考えています。

## 株主還元

**Q3** 当期・次期の配当施策についてお聞かせください。

**A3** 継続した配当を基本方針とし、信頼される企業を目指します。

当社は、企業価値の向上と、株主の皆様への適正な利益還元を経営の最重要課題と位置づけ、信頼される企業を目指しております。当期の配当につきましては、継続した配当方針に基づき、1株あたり2,500円とし、通期で5,000円とさせていただきます。次期につきましては、中間配当金1株あたり2,500円、期末配当金1株あたり25円を予定しています。なお、次期の業績予想に基づく配当性向は、31.1%となります。

今後とも、株主の皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

※当社は、平成25年10月1日を効力発生日とし、普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を予定しており、期末配当金は株式の分割を考慮した金額です。株式の分割を考慮しない場合の配当金は、1株あたり5,000円、うち中間配当金2,500円、期末配当金2,500円となる予定です。

## 業績ハイライト

販売台数	145,900台	(対前年同期比 6.0%増)
<small>(パチンコ遊技機・パチスロ遊技機合計)</small>		
売上高	46,991百万円	(対前年同期比 9.2%増)
営業利益	6,267百万円	(対前年同期比 14.1%減)
経常利益	6,317百万円	(対前年同期比 13.8%減)
当期純利益	3,123百万円	(対前年同期比 23.6%減)

## 平成25年3月期の主な販売機種



©TNX Inc. ©UP-FRONT PROMOTION Co., Ltd. ©J.P ROOM Inc. ©UP-FRONT WORKS Co., Ltd. The Omen TM & ©2012 Twentieth Century Fox Film Corporation. All Rights Reserved.

## 平成26年3月期の重点課題

### ブランド力の構築

- ① 稼働本位
  - 新規アイデアの発掘
  - 本物志向の遊技機
- ② 新たな流行を創り出すヒット機種の実現
  - 新ジャンルの確立
  - 独自性の追求
  - 差別化商品の実現
- ③ 販売計画の着実な達成
  - パチンコファンに魅力を提供する遊技機

Close Up  
当期発売機種

ホラー映画の金字塔が絶叫ホラーパチンコとして登場!!  
**圧倒的な恐怖演出!**

悪魔の子  
正体  
CR  
オーメン

### 絶叫ホラーパチンコ登場!

当社の実績あるホラーパチンコをベースとした演出構成をもとに、「6」という数字にこだわり、「オーメン」ならではの演出とゲーム性を盛り込みました。「ヒト味違う」絶叫ホラーパチンコとなっています。

### 大好評CRリング譲りの絶叫ST搭載!

3段階ST

77回

ST中16R比率  
特図2入賞時

50%

THE OMEN™

6月6日6時に生まれ、頭皮に「666」の刻印を持つ子、ダミアン。成長するに従って、彼の周辺では不可解な事故が頻発するようになる。それに気づき調査しようとした人たちもまた…。70年代ホラーブームを牽引した、オカルトホラー作品の金字塔。06年6月6日に世界同時公開されたリメイク版も評判を呼んだ。



The Omen TM & ©2012 Twentieth Century Fox Film Corporation. All Rights Reserved.

販売台数  
**15,900**台

Topics  
トピックス

## Main Lineup

当期 & 次期

当期の主な  
発売機種

### CR 哭きの竜 天運

#### 新本体枠を採用した 麻雀パチンコ登場!

原作を活かした演出だけではなく、オリジナルキャラクターとの対戦やプレイヤー参加型演出など、多数の演出を搭載。作品の魅力とパチンコの楽しみが融合した「ヒト味違う」麻雀パチンコとなっています。



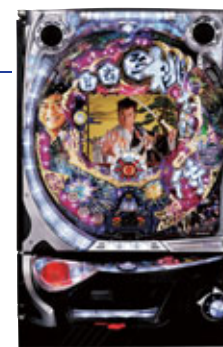
©「哭きの竜」能條純一/竹書房

平成24年5月発売  
PACHINKO  
販売台数  
**24,900**台

### CR 桃太郎侍 怒

#### 新時代劇画パチンコ登場!

実写とアニメ演出に「劇画」を加えることで演出の幅を広げ、奥深さを追求。完全撮りおろしのストーリーを搭載し、若年層から年配層までの幅広いファンに楽しんでいただける「新時代劇画パチンコ」となっています。



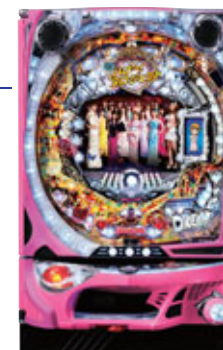
©東映 協力 アイウエオ企画

平成24年7月発売  
PACHINKO  
販売台数  
**13,800**台

### つくくプロデュース CR 元祖ハロー!プロジェクト

#### 真・王道歌パチ、ここにデビュー!

つくく氏全面プロデュースにより、「元祖ハロー!プロジェクト」メンバーの魅力をあますことなく表現。最大級の演出ボリュームで誰もが楽しめる「真・王道歌パチ」です。



©TNX Inc. ©UP-FRONT PROMOTION Co., Ltd. ©J.P ROOM Inc. ©UP-FRONT WORKS Co., Ltd.

平成24年9月発売  
PACHINKO  
販売台数  
**24,000**台

最新機種

### CR 呪怨

#### 決してひとりでは打たないでください。

新たに撮りおろしたオリジナル演出を多数搭載し、戦慄のストーリーをパチンコで表現しています。また、演出と連動する役物や不定期かつ一斉に流れるホラーサウンドなど様々な仕掛けが、プレイヤーにインパクトと驚きを与え、「ヒト味違う」ホラーパチンコを実現しています。

©東映ビデオ株式会社/「呪怨」製作委員会/「呪怨2」製作委員会/株式会社CELL

平成25年7月発売  
PACHINKO



# 製造部門は理想的な生産体制の構築のため、妥協のないものづくりに取り組んでいます。

信頼される品質ブランドを確立すること。それが、製造部門に課せられた使命です。具体的には、設計レベルにおける品質のつくり込みに向けて、製造部門と開発部門が連携し、「設計検証」を展開。部品の受け入れ段階から出荷段階に至るプロセスの中で、幾重もの目視検査を実施するとともに、人為的なミスをカバーするため、CCDカメラを搭載した自動判別装置を導入しています。不良率の低減と同時に力を注いでいるのが、短納期を可能にする生産性の向上です。最新鋭の生産ラインとボトルネックの排除を重ね合わせることで、理想的な生産体制を構築し、妥協のないものづくりに継続して取り組んでいきます。

## Q・C・Dの最適化により、ホール様の要望に対応していきます。

新台入れ替えの短縮化が進むなか、多品種・短納期に対するニーズはますます強くなっています。当社は、高品質な商品を大量に、そしてタイムリーに全国へ供給するため、パチンコ定時4000台・パチスロ500台の生産ラインを導入。Q(クオリティ)・C(コスト)・D(デリバリー)の最適化を継続して推し進め、ホール様からの要望に迅速・柔軟に対応していきます。



## 「品質報告会」を開催し、解決策を共有することで不良品を出さない仕組みづくりを実践しています。

当社では「購買方針」にのっとり、取引先様との公平・公正な取引と、相互信頼に基づいた持続的発展に努めています。その一例として、取引先様と協同で進める「品質報告会」を定期的開催。課題の抽出と、具体的な解決策を共有・実践することで、PDCAサイクルを回すことによる不良品を出さない仕組みづくりを進めています。ビジネスパートナーの皆様は、私たちにとって欠くことのできない存在です。誠実な購買活動を心がけ、対等なパートナーとしてこれからも共に歩んでいきたいと考えます。

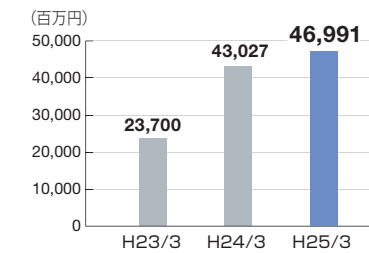


取引先様の新規アイデアに対して積極的に耳を傾けています。

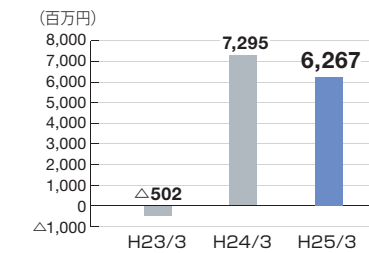
決算のポイント

● 販売台数を順調に伸ばし、売上が対前年同期比9.2%増加。

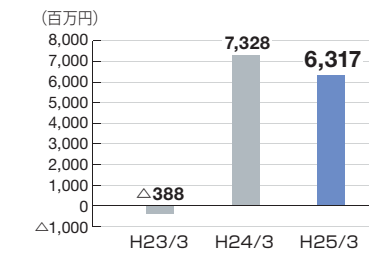
### 売上高



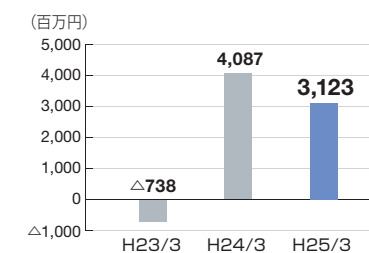
### 営業利益



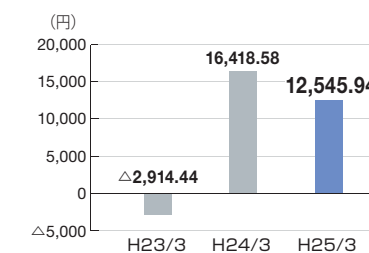
### 経常利益



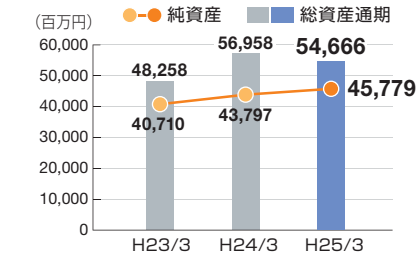
### 当期純利益



### 1株当たり当期純利益



### 純資産/総資産



### 貸借対照表

単位: 百万円

科目	平成24年3月期 (H24.3.31現在)	平成25年3月期 (H25.3.31現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	44,534	41,759
固定資産	12,423	12,907
有形固定資産	7,270	6,536
無形固定資産	179	190
投資その他の資産	4,973	6,180
<b>資産合計</b>	<b>56,958</b>	<b>54,666</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	11,707	7,271
固定負債	1,453	1,615
<b>負債合計</b>	<b>13,160</b>	<b>8,887</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	43,683	45,624
評価・換算差額等	114	155
<b>純資産合計</b>	<b>43,797</b>	<b>45,779</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>56,958</b>	<b>54,666</b>

\*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 損益計算書

単位: 百万円

科目	平成24年3月期 (H23.4.1~H24.3.31)	平成25年3月期 (H24.4.1~H25.3.31)
<b>売上高</b>	<b>43,027</b>	<b>46,991</b>
売上原価	22,036	25,405
<b>売上総利益</b>	<b>20,990</b>	<b>21,586</b>
販売費及び一般管理費	13,695	15,319
<b>営業利益</b>	<b>7,295</b>	<b>6,267</b>
営業外収益	130	132
営業外費用	97	82
<b>経常利益</b>	<b>7,328</b>	<b>6,317</b>
特別利益	182	0
特別損失	85	859
<b>税引前当期純利益</b>	<b>7,425</b>	<b>5,458</b>
法人税、住民税及び事業税等	3,420	2,762
法人税等調整額	△81	△427
<b>当期純利益</b>	<b>4,087</b>	<b>3,123</b>

\*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円

科目	平成24年3月期 (H23.4.1~H24.3.31)	平成25年3月期 (H24.4.1~H25.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,591	2,554
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,406	△2,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,119	△1,183
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,065	△1,308
現金及び現金同等物の期末残高	20,674	28,740
現金及び現金同等物の期末残高	28,740	27,431

\*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 平成26年3月期業績予想

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	26,900	△5.8	4,000	△31.8	4,000	△32.4
通期	50,000	6.4	7,000	11.7	7,000	10.8
	当期純利益		1株当たり当期純利益		年間配当金	
	百万円	%	円	銭	円 銭	
第2四半期(累計)	2,300	△12.0	9,238.62		2,500.00	
通期	4,000	28.1	160.67		(合計) 2,525.00	

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同期増減率)

\*平成26年3月期(通期)の業績予想における1株当たり当期純利益および年間配当金については、株式の分割の影響を考慮しております。

## 会社概要

設立 昭和41年10月1日  
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号  
 従業員数 409名  
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の開発、製造、販売

## 役員

代表取締役社長 松 元 邦 夫  
 代表取締役副社長 松 元 正 夫  
 代表取締役専務 井 上 孝 司  
 常 務 取 締 役 辻 田 隆 隆  
 取 締 役 羽 山 敏 隆  
 取 締 役 米 田 勝 己  
 取 締 役 渡 辺 勝 治  
 社 外 取 締 役 坪 本 浩 一 郎  
 社 外 取 締 役 川 添 嗣 夫  
 常勤監査役(社外) 川 西 耕 司  
 社 外 監 査 役 堀 弘 二  
 社 外 監 査 役 川 島 育 也

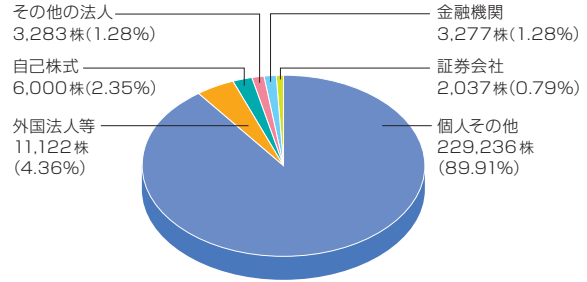
## 事業所

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)  
 東京開発事業所  
 東京支店 横浜営業所 広島営業所  
 大阪支店 八王子営業所 高松営業所  
 札幌営業所 静岡営業所 福岡営業所  
 青森営業所 名古屋営業所 熊本営業所  
 仙台営業所 金沢営業所 鹿児島営業所  
 千葉営業所 京都営業所  
 埼玉営業所 神戸営業所

## 株式の状況

1) 発行可能株式総数 800,000株  
 2) 発行済株式の総数 254,955株  
 (自己株式6,000株を含む)  
 3) 株主数 6,608名

### 所有者別株主分布



### 4) 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松元 邦夫	95,560	37.48
松元 正夫	65,626	25.74
釣谷 香揚子	18,780	7.36
吉田 嘉明	4,973	1.95
藤商事従業員持株会	2,819	1.10
松元 恵子	2,600	1.01
伊藤 滋	1,800	0.70
UBS AG LONDON A/C IPB SE GREGATED CLIENT ACCOUNT	1,300	0.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,108	0.43
野村証券株式会社自己振替口	1,000	0.39

(注) 1. 当社は、自己株式を6,000株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当 毎年3月31日  
 中間配当 毎年9月30日  
 その他必要がある時は、予め公告して定めの日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031

ホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社のホームページに掲載致します。  
 (http://www.fujimarukun.co.jp)  
 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載致します。